

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	4 河川、ため池の水質の保全	②施策番号	6304
③まちづくりの方向〔政策（章）〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④基本施策〔施策大（節）〕	1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	1 河川・ため池の保全と活用		
⑥担当部名	⑦担当課名		
都市整備部	下水道課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	河川
②意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	水洗化の促進と河川保全のため、公共下水道を整備する。併せて、防災や環境面に配慮した河川の維持改修をおこなう。
③環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	公共領域の水質向上のため、公共下水道の整備促進及び合併浄化槽への改造が望まれる。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	下水道普及率	%	普及率が増加することにより、公共下水道に接続する世帯が増え、水質環境の改善が図られるため。
	計算式：整備済区域内人口／行政人口		
②	計算式		
③	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	下水道普及率	%	目標値	55.2	55.2	57.7	57.7	57.7	
			実績値	56.9	57.3	57.4	—	—	
			達成率	103.1%	103.8%	99.5%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	公共下水道整備事業	下水道普及率	%	57.3	57.5	57.8	151,034	162,874	325,924	A	ア	◎
2	公共下水道計画事業	下水道普及率	%	57.3	57.5	57.8	51,175	8,813	34,799	A	ア	○
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	2						202,209	171,687	360,723			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	公共下水道の計画的・効率的な整備を進めるとともに、水洗化の普及促進に努めることにより、河川の水質汚濁防止や快適な生活環境の確保を行う。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	市民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全に努めるため、微増ではあるが、着実に下水道事業は進捗している。しかし、公共下水道整備には、時間と予算、そして、継続性が必要である。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	下水道整備事業完了地区においては、早期の下水接続に向けた積極的な啓発活動に対する協力が必要である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	必要な事務事業であり、適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	下水道普及率の向上を図るためには、公共下水道整備事業を推進する必要がある、計画的で着実な下水道整備を図るためには、公共下水道事業計画を立てる必要がある。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	河川をとりまく環境の変化による、洪水や浸水の被害を未然に防止するため、防災面や環境面に配慮した整備・管理をおこなうことは、多額の費用が必要であることから、優先順位の順位付け及び実施エリアのバランスの判断が課題である。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	未水洗家庭を全戸訪問し、水洗化の促進を図る。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	継続的に未水洗家庭を訪問し、水洗化の促進を図る。
中長期的対応 (3～5年をめぐりに取り組む改善案)	中長期的な計画の策定と実施。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	公共下水道整備による河川、ため池の水質の保全への取組が適切に実施されている。 水質の保全に向けて整備・管理について計画的に取組を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある